

議員全員協議会会議録	
1 開会日	平成27年 5月12日 午後 1時30分 開会 午後 2時57分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席議員	奥津勝子 高橋英俊 二宮加寿子 渡辺順子 坂田よう子 片野哲生 吉川重雄 高橋富美子 竹内恵美子 三澤龍夫 関 威國 鈴木京子 清水弘子
4 説明員	町側出席者 中崎町長 栗原副町長 藤家教育長 森田参事（地域総合戦略担当） 荒巻参事（危機管理対策担当） 仲手川政策総務部長 大槻総務課長 池田危機管理課長 加藤財政課長 押田財政係長 岩本教育部長
5 職務のため出席した職員	局 長 増尾克治 書 記 波多野昭雄
6 協議等の事項	(1) 議会報告会について (2) その他
7 その他	一般傍聴 なし

(1) 町長あいさつ

次の3件について、お知らせを受けた。

①「小学校教育への寄附」について

4月8日に小学校教育のためにと、100万円の寄附を受けた。今後、活用方法を検討の上、補正予算に計上する。

◎主な質疑

なし

②「町ぐるみ美化キャンペーンの実施」について

5月24日(日)、朝7時から、町ぐるみ美化キャンペーンを実施するので、協力いただきたい。

◎主な質疑

なし

③「子育て世帯 臨時特例給付金」について

昨年度に引き続き、消費税率の引き上げの影響を踏まえ、子育て世帯に対する臨時特例的な措置として実施する。申請受付は、6月上旬を予定している。

◎主な質疑

なし

(2) 町報告事項

①津波浸水想定図の配布について

平成27年3月31日に神奈川県から津波浸水想定が発表されたことから、町で図面を作成し、町内全戸に配布し周知を図る旨の説明があった。

◎主な質疑

問：津波浸水想定図の配布で町民は凄く不安になると思う。今後の防災対策をどうするか、町の基本的な方針を出すことも必要ではないかと考える。

答：まずは皆さんに周知することを目的の一つとしている。また、お住まいの場所が浸水想定区域にあるかどうかを知ってもらい、普段から家族で話し合い避難行動に繋げてほしいと考えている。今後の取り組みについては、県とも協議しながら進めていく。

問： 県と合わせての対策のほか、今まで以上に町としての対策を打ち出す必要があるのではないか。

答： 我々も非常に危機感を持っている。まちづくり基本計画や総合計画にどのように反映させていくか、庁内で話し合いを行っている。都市計画法上の規制の問題、規制に伴う緩和の問題、これをどのように捉えていくかをもう少し時間をかけ、皆さんに相談しながら十分議論を尽くしたいと考えている。

問： 配布時期には、防災ミーティングや幼保小中一斉引渡し訓練などが開催され防災に対する町民の意識がとて高い状態になる時期だ。心配する声が町民から多く寄せられると思うが、如何か。

答： 配布と同時に、自主防災組織連絡協議会や消防団の会合などさまざまな機会を捉え意見交換をしていく。また、地域の方がどのように考えているか、意見を伺いながら今後の訓練等に反映させていきたいと考えている。

問： 現在の「大磯町津波ハザードマップ」と比較し、浸水想定はかなり広がったと理解してよいか。

答： 津波による浸水域は 0.6 km<sup>2</sup>から 1.6 km<sup>2</sup>と約 2.7 倍に増え、最大津波高さは 9.15mから 17.1mと倍近く増えた。最大津波の到達時間は 8分から 3分になった。想定としては、かなり厳しい状況である。

問： 海から離れていても海拔が低い場所があるが、その辺は津波浸水想定図に加味されているのか。

答： 県から、単純に海拔でなく、時間経過とともに水がどこまで浸水し、どのように引いていくかで浸水域を算出したと聞いている。海拔の低い場所でも海岸から離れていれば波が到達しないところもある。

問： 大磯町は、東に花水川、西に不動川がある。津波は必ず川を遡上すると思うが、その辺は津波浸水想定図に反映されているのか。

答： 川の遡上を考えた結果も津波浸水想定図に反映されている。

問： 津波浸水想定図に対する疑問は、どこに問い合わせればよいのか。

答： 町が作成し配布するものなので、町で答えうる範囲についてはお答えする。シミュレーション方法など専門的な内容は直接県に問い合わせるよう説明したい。

問： 津波避難場所や津波避難ビルの違い、また、津波避難ビルの高さの記載が有った方がいいと思われるが、補足することはできないか。

答： 津波避難場所や津波避難ビルについて町ホームページに掲載しているが、追加説明も必要と考えている。今後、配布後に寄せられる意見等を踏まえホームページの作り込みを工夫したい。

問： 適切な避難行動を行うためには、緊急情報の迅速な入手が必要だ。防災行政無線は聞き取り辛いといった問題がある。情報伝達手段についてどのように考えているのか。

答： 防災行政無線の問題点は町も十分認識している。現在情報伝達手段を増やす取り組みを行っており、SNSを用いた情報発信の準備を進めている。防災ラジオについても今後検討を進めていきたい。

問： 現在、花水川の河川改修が行われている。新たな浸水想定により護岸の高さなど改修計画を見直す必要があると考えるが、如何か。

答： この結果をもとに改修工事の内容を変更する予定はないと聞いているが、新たな浸水想定が出された以上県に対し町としての考えを伝え、護岸や堤防の高さについて検証するよう働きかけを行っていききたいと考えている。

問： 災害発生時にはいろいろな物が使えなくなる恐れがある。機械だけに頼らず、普段から隣近所の付き合いを密にし、人的な連絡方法を築き上げることも必要だと考えるが、如何か。

答： 総合防災訓練や出前講座などあらゆる機会を捉え、防災上如何に地域との繋がりが重要かを話していきたい。

意： 中丸地区の津波避難場所は大磯城山公園と大磯プリンスホテルだ。避難場所に行くためにはいずれも川を渡らなければならない。避難場所を変えることも検討すべきではないか。

意： 「早く逃げるのが一番」と言うが、早く逃げられる若者ならいいが多くが高齢者だ。高齢者が早く逃げるための方法も考えないと何の防災対策にもならない。

## ②平成 27 年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算について

6 月定例会に議案として提出される補正予算について、担当課より説明があった。

### ◎主な質疑

問： 大磯港活性化事業は、町単独事業か。

答： 平成 27 年度の当初予算で町単独事業として計上しているが、平成 27 年 3 月補正予算との重複予算のため減とする。

### ③その他

参事（危機管理対策担当）より、台風 6 号の状況について説明があった。

## (3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配布により説明は省略。

(4) 報告事項

①委員長等からの報告

○議会運営委員会の概要・・・吉川委員長

5/12 (提出予定議案・陳情の取扱い)

○総務建設常任委員会協議会の概要・・・渡辺委員長

4/30 ((仮称)ポートハウスてるがさきの運営・リサイクルセンター  
整備スケジュール)

○福祉文教常任委員会協議会の概要・・・高橋委員長

5/11 (自転車駐車場整備事業等・ロコモティブシンドロームの取組  
み・大磯町附属機関の設置に関する条例の一部改正(大磯町い  
じめ問題対策・調査委員会の設置))

②監査委員からの報告・・・竹内監査委員

③農業委員からの報告・・・坂田委員

④ 4/28 関東町村議会議長会会長会議・・・奥津議長

⑤ 5/10 神奈川県戦没者追悼式・・・奥津議長

⑥その他

なし

(5) 協議事項

①議会報告会について

5月11日の臨時議員全員協議会での説明方法の協議について再度確認  
を行い、議会報告会における説明方法等の確認を行った。

②その他

なし

(6) その他

・今後の議員全員協議会は、6月16日(火)、7月15日(水)、いずれも  
午後1時30分からの予定